

## 堺市立図書館 サービスの基本方針

<b>基本方針(1)【育む力】</b> 地域の知の拠点として、市民の暮らしに寄り添い、役立つ資料・情報を提供します
<b>サービスの具体的方向性</b>
① 市民の読書環境の充実にさらに努めます。
② 暮らしに身近なテーマを図書館で調べる・相談できるようにします。
③ さまざまな専門家等との連携によるサービスに努めます。
<b>基本方針(2)【学ぶ力】</b> 生涯学習の場として、さまざまな学習機会を支援します
<b>サービスの具体的方向性</b>
④ 子どもと一緒に安心して、楽しく利用できる環境を整備します。
⑤ 学校と連携して学びを支援します。
⑥ 青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。
<b>基本方針(3)【創る力】</b> 「歴史文化のまち堺」の発信と継承に貢献します
<b>サービスの具体的方向性</b>
⑦ 堺の歴史文化を保存し、次代に継承して活かします。
⑧ 市民交流の場を作ります。
⑨ 堺のまちづくり・地域づくりのお手伝いをします。

令和3年度 各図書館の取組状況 (〇区)

※イメージ図

定量的指標	全体	区民千人当たり
貸出点数	点	点
予約点数	点	点
レファレンス受付件数	件	件
来館者数	人	人

\*〇区人口 〇〇〇人  
 (令和3年4月1日現在)  
 \*その他数値は「令和2年度  
 図書館概要」より  
 〇〇図書館、〇〇分館を含む

令和2年度図書館サービス評価で協議会委員からいただいた課題等

今年度の目標

【目標に向けた具体的取組み内容】

* 事業内容(業務内容)		
サービスの具体的方向性		
目的	* 事業(業務)の目的	
内容	* どういうことをするのか、企画内容	
効果	* この企画を実施したことで得られる効果	
指標	* 当該事業(業務)への市民の反応等(例:参加者数、申込み数、アンケート回答数 など)	
実施結果	* 市民からの反応等の結果(数値化)	
効果検証	①妥当性	* 実施した事業がサービスの基本方針(具体的方向性)等に合致していたか
	②インパクト	* 事前の広報や実施会場でのPR等、市民にインパクトを与えることができたか
	③効率性	(例)電子書籍の使い方講座→受講により市民が自ら検索・閲覧ができるようになることで受講者自身の効率性が高まると考える。/ブックリストに図書館公式Twitterの案内を掲載することで、図書館のPRを行うことができた。 * 市民の効率性を含め、広報や実施方法の工夫等で効率性を高めることができたか
	④協働の視点	※ボランティア等の協力があつた場合 * ボランティア等の事業への参画はどうだったか、どのように協働したか
評価		
今後の方向性	拡充 / 継続 / 見直し (〇をつける)	
課題、改善提案等		

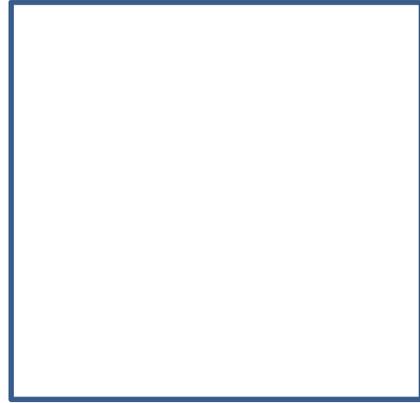
## 取組みの様子

※1事業写真・資料等2枚程度

1. ○○



〈キャプション〉



〈キャプション〉

2. ○○



〈キャプション〉



〈キャプション〉

## 令和3年度 of 取組み総括評価

1. ○○コーナーの新設により、○○の利用が促進されたが、○○の利用は○○と低い数字にとどまりました。○○をターゲットにした○○の工夫が必要であると考えます。
2. ○○の実施により、○○の○%増加につながりました。より○○を促進するために、○○と連携するなど、○○していきます。
3. ○○が新たな課題として挙げられます。利用者アンケート○○の項目が前年度(数値)・前々年度(数値)に対し、今年度は(数値)と大きくポイントを下げました。新型コロナウイルス感染防止の観点から○○が困難ですが、次年度は○○の対策を講じながら、○○の利用を回復するために○○といった取組みが必要と考えます。

## 図書館協議会委員の意見

## 令和3年度 各図書館の取組み目標 (中央・堺区)

令和2年度図書館サービス評価を踏まえての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館カウンター堺東の事業検証と利用促進。</li> <li>・図書館業務の専門的知識・技能の習得に加え、運営への主体的参画姿勢と推進能力を備えた職員の人材育成。</li> <li>・電子書籍・デジタルアーカイブ・動画配信等の非来館型サービスを中心とした図書館サービスの情報発信と、利用者の情報リテラシーの向上に対する取組み。</li> <li>・図書郵送サービスのモデル実施は2年度末時点で利用者が2人(3件)。今後広報やサービス内容の見直しを実施し、利用増に向けて課題を整理する必要がある。</li> </ul>

今年度の目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央図書館として、以下の目標に取り組みます。               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 図書館利用を促進するため、Twitter やホームページ等での情報発信を強化します。→【育む力】</li> <li>2. 電子書籍・デジタルアーカイブ・動画配信等の非来館型サービスを中心とした図書館サービス利用促進に向け、利用者の情報リテラシーの向上に取り組みます。【育む力・学ぶ力】</li> <li>3. 電子書籍提供サービス(電子図書館)に、新たに堺市独自資料や市広報、各種計画といった行政資料をコンテンツとして収集・公開する仕組みを構築します。→【創る力】</li> </ol> </li> <li>・堺区の図書館として、以下の目標に取り組みます。               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市街地の新しいサービス拠点である図書館カウンター堺東の運営状況の検証や効果的な広報等を行いながら、利用促進をはかります。【育む力】</li> <li>2. 青少年の図書館利用促進、読書振興のため、「ティーンズコーナー」を一般閲覧室に新設します。【学ぶ力】</li> </ol> </li> </ul>

### 【目標に向けた具体的取組み内容】

#### 〔中央図書館〕

1. Twitter やホームページ等での情報発信強化	
サービスの具体的方向性	①市民の読書環境の充実にさらに努めます。
目的	堺市立図書館の利用促進をはかる。
内容	Twitter やホームページ等での図書館の開閉館情報、電子書籍・デジタルアーカイブ等図書館資料の紹介、イベント情報等、情報発信を強化する。市広報課や各区役所と連携し、市や各区の情報と図書館事業の情報を相互に発信する。
効果	Twitter やホームページなど即時性の高い広報媒体で情報発信を行うことで、図書館に興味を持つ市民・利用者を増やし、利用促進につなげる。また、デジタルアーカイブや堺独自の電子書籍など、堺の地域資料を広報することで、市民の堺に対する愛着や誇りを醸成するとともに、広く堺を知ってもらうきっかけを提供する。
指標	Twitter 投稿件数、Twitter フォロワー数、HPトップページアクセス数を成果指標とし、前年度比により効果測定を行う。

2. 非来館型サービスを中心とした図書館サービスの利用促進	
サービスの具体的な方向性	⑥青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。
目的	利用者の情報リテラシー向上をはかることで、非来館サービスを中心とした図書館サービスを利用促進するとともに、情報を活用した豊かな市民生活につなげる。
内容	電子書籍や、図書館ホームページの便利機能、E-レファレンス等の使い方講座を実施する。来館者に向けての広報とともに、Twitter 等でも、電子書籍やデジタルアーカイブなどの資料紹介、その他図書館サービスに関わる便利な情報を計画的に広報する。
効果	電子図書館・デジタルアーカイブの利用促進。 非来館型サービスを促進することで、いつでも・どこからでも利用者が自分自身で情報を取得が可能になり、読書環境が充実するなど、情報を活用した豊かな市民生活につながる。
指標	電子書籍閲覧回数、デジタルアーカイブ閲覧回数を成果指標とし、前年度比により効果測定を行う。

3. 電子図書館での行政資料をコンテンツとして収集・公開する仕組みの構築	
サービスの具体的な方向性	⑦堺の歴史文化を保存し、次代に継承して活かします。
目的	堺市独自の電子図書館資料として行政資料を収集・公開する仕組みを構築し、堺の情報の発信と継承に貢献する。
内容	行政部門の各部署が作成した計画・要覧等の行政資料を堺市独自の電子図書館資料として収集し、公開する仕組みを構築する。
効果	毎年定期的に作成される行政資料を電子図書館で体系的・網羅的に収集・公開することで、紙媒体の図書館資料と一括して検索できる仕組みが構築される。従来図書館で紙媒体でしか提供していなかった行政資料がデジタルで公開されることで、市民に限らず国内外の人々が堺のことを知り、学ぶことができるようになる。
指標	堺市独自資料の公開件数・閲覧数を成果指標とし、前年度比により効果測定を行う。

〔堺区〕

1. 図書館カウンター堺東の利用促進	
サービスの具体的な方向性	①市民の読書環境の充実にさらに努めます。
目的	市街地の新しいサービス拠点である図書館カウンター堺東の利用促進をはかる。
内容	中心市街地である地域特性を利用した施設としての運営状況の検証や効果的な広報等を行う。
効果	駅前立地を活かし、開館時間は午前8時～午後9時、休館日は原則第1・第3木曜、年末年始と、他の市立図書館より長い時間サービスを行うことで、近隣住民のみならず通勤通学者に対する利便性を高める。
指標	年間利用者数・貸出点数を成果指標とし、他市同等施設等との比較により効果測定を行う。

2. ティーンズコーナーの設置・運営	
サービスの具体的方向性	⑥青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。
目的	青少年の図書館利用促進、読書活動の活性化のため。
内容	中央図書館一般閲覧室に中高生を中心とする10代向けの資料特設コーナーを設置する。勉強・部活・進路・友人関係などに役立つ資料を提供する。
効果	自身の求める資料を探しづらい年代に向けたコーナーを設置することで、青少年の利用促進・読書活動の活性化をはかる。
指標	10～19歳の利用者数・貸出点数を成果指標とし、前年度比により効果測定を行う。

## 令和3年度 各図書館の取組み目標 (中区)

### 令和2年度図書館サービス評価を踏まえての課題等

- 人口あたりの貸出やレファレンス件数がやや低い。来館を促進する継続性のある企画が必要
- 教育センターとの連携を進め、学校の教師に役立つ情報提供・研修機会の提供に努めてほしい。
- 「外部との連携」立地上の利を生かしてできることなので、お互いの場を生かして今後も外部との連絡を取りながら、ブックフェアをしてください。
- おはなし会等、コロナだからできないではなく、どうしたらできるかを追求することは大事。館内の取組みだけでなく、出かけていくサービスをめざすべき。

### 今年度の目標

- ・新型コロナウイルスの感染状況に配慮しながら、図書館の利用が活発になるよう以下の取組みを実施します。
- 1.市民に図書館の便利なサービスをアピールします。→【育む力】
  - ・検索・予約・延長等のICTサービス活用のためのスマートフォン・パソコン等の活用啓発を行います。
  - ・レファレンス事例等の紹介により市民ニーズを引き出します。
- 2.「ソフィア・堺」の施設と連携し、複合施設にある図書館としての強みを活かした取組みを実施します。
  - ・「平和と人権資料館」と協力し、『保護者向け講座 親子で学ぼう！戦争があったこと』を実施します。参加目標人数を親子10組にします。→【学ぶ力】
  - ・「教育情報コーナー」がより活発に利用されるよう、教職員等に向けた情報提供を行います。→【学ぶ力】
- 3. 中区の地域と連携した事業を行います。
  - ・中区の史跡に関する『歴史文化市民講座』を開催し、地域の歴史文化の情報発信・継承に寄与します。→【創る力】
  - ・中基幹型包括支援センターや中保健センターなどとの協力事業を継続して行います。→【育む力】

### 【目標に向けた具体的取組み内容】

1. スマートフォン・パソコン等の活用啓発	
サービスの具体的方向性	①市民の読書環境の充実にさらに努めます。
目的	スマートフォン・パソコン等を使用した図書館サービスの利用促進をはかる。
内容	新規登録時及び更新時にICTサービスの利用状況を尋ね、チラシを用いてその場で図書館ホームページのマイライブラリーパスワードの取得と活用方法をレクチャーする。(期間を設けて実施し、効果を検証する。)
効果	スマートフォン・パソコン等を使用した図書館サービスの利用が促進される。
指標	ログインパスワード取得者及び活用相談者数

1. レファレンス事例の紹介	
サービスの具体的な方向性	②くらしに身近なテーマを図書館で調べる・相談できるようにします。
目的	市民に、図書館員にどういったことが相談できるのかレファレンスサービスの有用性をアピールし、図書館をより便利に活用していただく。
内容	職場研修でレファレンス事例の演習を行い、職員の技量を高める。 典型的なレファレンス事例を紹介する利用者向けチラシを作成し、期間を定めて配布する。
効果	市民により便利に図書館を活用していただく。
指標	来館者千人当レファレンス件数(令和2年度 26.9件)

2. 保護者向け講座の開催	
サービスの具体的な方向性	④子どもと一緒に安心して、楽しく利用できる環境を整備します。
目的	戦争を知らない世代に平和への知識を深めてもらうとともに、現在の生活の振り返りや、平和について家族で考える機会をつくる。
内容	「親子で学ぼう！戦争があったこと」と題して、子どもと保護者と一緒に堺空襲を中心とした体験談を聞いていただく。その後「平和と人権資料館」で、戦争中の生活用品などの展示などを見学していただく。
効果	平和への知識を深めてもらうとともに、関連の図書館資料を展示し図書館の利用促進と平和と人権資料館の利用を促す。
指標	参加者アンケートでの平和に関する知識の深まり度合

3. 歴史文化市民講座の開催	
サービスの具体的な方向性	⑨堺のまちづくり・地域づくりのお手伝いをします。
目的	「歴史文化のまち堺」の発展と継承に貢献する取り組みとして地域の文化財を学ぶ機会を作り、シビックプライドの醸成に寄与する。
内容	中区にある史跡「土塔」について地元の郷土史家を講師に迎え、史跡を守り伝えてきた意義などについておはなしをうかがう。
効果	地域の歴史や価値を広く市民に知ってもらい、郷土愛や地域への帰属意識を高め、まちづくりや地域の活性化に寄与する。
指標	参加者アンケートでの史跡「土塔」に関する知識の深まり度合

3. 中基幹型包括支援センターとの協力事業	
サービスの具体的方向性	③さまざまな専門家等との連携によるサービスに努めます。
目的	専門機関と連携し、介護予防や認知症に係る支援情報や関連情報を市民に提供することで、要介護者や認知症者又はその家族や介護者を支援するとともに、市民が関心をもつ機会を作る。
内容	中基幹型包括支援センターと協力し、「介護予防パネル展」「認知症パネル展」の実施と、「ミニ認知症講座」を開催する。
効果	要介護者や認知症者又はその家族や介護者を支援するとともに、中基幹型包括支援センターと協力し、市民への啓発を進める。
指標	「ミニ認知症講座」の参加者アンケートでの講座の認知症等に対する役立ち度

## 令和3年度 各図書館の取組み目標 (東区)

令和2年度図書館サービス評価を踏まえての課題等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・棚づくりやブックフェアに関し、良い評価とともに、ニーズを把握し色々と試みることで、通常書架も含め全体で魅力を感じられる棚づくりを行うことなど、ご意見をいただいた。</li> <li>・閲覧席の削減や自習席について何らかの検討が必要。</li> </ul>

今年度の目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の暮らしに役立つ資料・情報の提供に重点的に取り組み、以下の目標を達成します。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 魅力ある書架の構築のため、資料管理計画にもとづいた収書・除籍を行い、市民が資料を選びやすい棚をつくれます。15年以上配架している開架資料の点数を昨年度比5%減とします。→【育む力】</li> <li>2. 多様な課題の周知・解決のため、関係部局と連携してブックフェア等を実施します。連携機関を新たに増やします。→【育む力】</li> <li>3. 市民の学びのため、堺歴史文化市民講座、保護者向け講座等を実施します。講座参加者アンケートでの満足度を80%以上とします。→【学ぶ力】</li> </ol>

### 【目標に向けた具体的取組み内容】

1. 魅力ある書架の構築	
サービスの具体的方向性	①市民の読書環境の充実にさらに努めます。
目的	利用者が資料を選びやすい書架を作る
内容	資料管理計画にもとづいた収書・除籍を行う。利用が少ない・情報が古い等の開架資料の書庫入れ・除籍を進める。書架の各段はスペースに余裕をもった冊数におさえ、面展(本の表紙見せ)等の活用でアイキャッチを増やす。
効果	資料を手にとりやすく、目を引く書架にすることで、利用者の意図しない資料への出会いの場を提供し、利用を促す
指標	15年以上配架している開架資料点数の前年比

2. 関係部局との連携によるブックフェア等の実施	
サービスの具体的方向性	②くらしに身近なテーマを図書館で調べる・相談できるようにします。
目的	多様なテーマに合わせた資料・情報を提供し、地域の課題解決をはかる
内容	ビジネスパーソンや学生が多く利用する北野田駅前という立地を活かし、また、高齢化率が市内で二番目に高いという東区の特徴にあわせて関係部局等との連携を行い、展示・ブックフェア等を実施する。関係部局とはテーマの設定を協議したり、パンフレット・パネルの提供を受けたりなど、それぞれの専門分野やテーマを活かした連携方法を模索する。
効果	様々なテーマで関係部局と連携して資料・情報を提供し、市民の学びの機会を増やすことで、地域の課題解決をはかる。
指標	連携機関数

3. 講座等の実施	
サービスの具体的方向性	⑥青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。
目的	市民の学びの機会を提供し、郷土愛や課題解決につなげる
内容	堺歴史文化市民講座、保護者向け講座等、それぞれのテーマについて深く学べる機会を提供する。講座開催に前後してミニブックフェアや関連情報の提供を行う。
効果	地域の歴史文化の学びの場を提供することでシビックプライドの醸成に寄与し、子育て世代が持つ課題等の解決等につなげる。講座に関連した情報提供を行うことで、関連分野の利用促進を図る。
指標	参加者アンケートにおける地域の歴史文化に対する知識の深まり満足度・子育てにおける課題解決満足度

## 令和3年度 各図書館の取組み目標 (西区)

### 令和2年度図書館サービス評価を踏まえての課題等

- ・西区子育て・環境整備事業としての環境整備による新たなサービスの発展に期待している。
- ・専門機関、専門家と連携した相談事業の開催についてどんどん進め、今後も月ごとにテーマ設定し発信し、定着していくことを期待する。
- ・オンラインツールの活用に期待する。そうしたツールを使いこなせない、使わない人へのアプローチが課題。
- ・人口からみて予約・貸出点数が低い。改修での新たな空間の創設が関心を高め利用を広げることを期待する。
- ・キャプション評価は面白い試みでいろんなところで試してみてもよい。

### 今年度の目標

- ・西図書館拡充整備また専門機関や学校施設等と連携した情報提供を行い、以下の目標を達成します。
- 1. 区民の学びと読書環境充実のため、市民、関係者の意見を反映した運用を行います。【 育む力 ・ 学ぶ力 ・ 創る力 】
- 2. 医療機関、学校・地域施設と連携した事業実施、情報提供を行います。【 育む力 ・ 学ぶ力 】

#### 【目標に向けた具体的取組み内容】

1. 西図書館拡充整備	
サービスの具体的方向性	①市民の読書環境の充実にさらに努めます。
目的	市民・関係者の意見を反映した拡充・整備を行い、区民の学びと読書環境の充実をはかる
内容	意見聴取のためのキャプション評価実施により、市民・関係者の意見を反映し、児童・地域資料書庫及びラーニングスペースを整備する。 ボランティアの学習機会、活動の場の提供として、「ボランティアステップアップ講座」「西図書館まつり」を実施。
効果	市民ニーズを反映した拡充・整備により西図書館の利用を促進。
指標	来館者数、利用者アンケート施設全体の満足度
2. 医療機関、学校・地域施設と連携した事業実施、情報提供	
サービスの具体的方向性	③さまざまな専門家等との連携によるサービスに努めます。
目的	暮らしに役立つ情報を提供する
内容	まちの保健室等の健康子育て相談事業の定期開催。専門家と連携したブックフェアの実施及びブックリストの作成。
効果	専門家の的確な情報提供により地域住民の健康増進への意識を高める。
指標	参加者数(新規・リピーター数)、利用者アンケート調べ物(調査・研究)サポート満足度

## 令和3年度 各図書館の取組み目標 (南区)

令和2年度図書館サービス評価を踏まえての課題等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化情報コーナーの充実、必要とする市民への周知。</li> <li>・コロナ禍において外国人市民が母国語の情報を受け取る機会が難しい。外国人市民と情報を結びつける取組が必要。</li> <li>・集会室、学習ルーム、対面朗読室、おはなし会等、コロナ禍で縮小を余儀なくされている点は堺市立図書館共通の問題。</li> <li>・南図書館ホールについて、受付、返金等柔軟に対応すべき。</li> </ul>

今年度の目標
<p>様々な社会情勢の変化や新しい生活様式への移行をふまえながら、「南区基本計画」、「SENBOKU New Design」で示されている区の課題の解決支援に向けて、職員一人ひとりが主体的に区民視点に立ったサービス向上に取り組みます。</p> <p>1. 区の課題を解決支援するための資料を収集します(ブックフェア実施)。また、堺・泉北の歴史、文化を身近に感じられる資料を収集します(コーナー設置)。【育む力・創る力】</p> <p>2. 子育て支援サービス充実をめざし、今年度本市に移管された大型児童館「ビッグバン」と交流、連携を図ります(連携事業を1回以上実施)。【育む力・学ぶ力】</p>

### 【目標に向けた具体的取組み内容】

1. 堺・泉北コーナー(堺・泉北がわかる本)の設置	
サービスの具体的方向性	②くらしに身近なテーマを図書館で調べる・相談できるようにします。
目的	地域に関する資料を提供することで、くらしに身近な課題の解決を支援する。
内容	堺・泉北の歴史、文化を身近に感じられる資料を収集しコーナーを設置する。
効果	興味を引き手に取りやすい資料を交えて、堺・泉北に関する資料を提供することで、くらしに身近なテーマを調べる契機とし、課題解決に資する。
指標	堺市立図書館ホームページ以外への情報の掲載、利用者アンケート調べ物(調査・研究)サポート満足度

2. 大型児童館「ビッグバン」との連携事業の実施	
サービスの具体的方向性	④子どもと一緒に安心して、楽しく利用できる環境を整備します。
目的	今年度本市に移管された大型児童館「ビッグバン」と交流、連携したイベントを実施し、子育て支援サービス充実に資する。
内容	地元絵本作家 H@L(ハル)さんによる親子で楽しむワークショップ「とび出す絵本をつくってみよう！」などビッグバンと連携したイベントを実施し、図書館での資料提供とともに、子育て支援や地域の子ども・保護者同士がふれあい、交流を深める場を提供する。
効果	図書館外の施設と連携した児童向けイベントを実施することで図書館サービスのさらなる周知を図るとともに、本市に移管されたビッグバンを当館でも広報することにより、その相乗効果として両施設の利用促進を図る。
指標	ビッグバンとの連携イベントに対する参加者数・満足度、図書館以外を会場とするイベントに対する意見等

## 令和3年度 各図書館の取組み目標 (北区)

令和2年度図書館サービス評価を踏まえての課題等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの読書推進や読書習慣の向上、図書館の利用促進につながる取組み。</li> <li>・リモート形式や動画配信などの非来館型、館内で実施の来館型、それぞれの世代のニーズや状況に対応した事業の実施。</li> <li>・利用の多い子育て世代に支持される図書館サービスの展開。</li> </ul>

今年度の目標
<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底し、市民のくらしに役立つ資料・情報の提供に重点的に取組み、以下の目標を達成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもたちが主体的に学習方法を身に着ける支援を行うため、調べもの資料を積極的に収集し、児童向けレファレンス資料コーナーを新設します。【育む力・学ぶ力】</li> <li>2. コロナ禍で実施が困難になっている行事の代わりに、利用者が来館しなくてもできるサービスを実施することで読書活動の推進につとめます。【創る力】</li> <li>3. 子育て世代が安心して気軽に利用し、様々な情報を獲得できるよう、「子育て支援情報コーナー」の充実につとめます。【育む力】</li> </ol>

### 【目標に向けた具体的取組み内容】

1. 児童向けのレファレンス資料コーナーの新設	
サービスの具体的方向性	②くらしに身近なテーマを図書館で調べる・相談できるようにします。
目的	子どもの主体的な学習活動の支援、図書館利用促進
内容	子どもの調べものに関するコーナーを開設し、調べ方の本や調べものに役立つ資料などを配置する。コーナーについてのアンケートを実施し、効果測定を行う。また子ども司書養成講座を開催し、調べ方の方法についてレクチャーする。
効果	子どもが自ら調べものをしたり解決できるコーナーを設置し、探求心を醸成する環境を整備することで、図書館の利用促進、読書活動を推進する。また調べ方のレクチャー等の支援を通して、子どもの自主的・主体的な学習につなげる。
指標	アンケートを行うことで子どもが当該コーナーを利用しているか、内容などに満足しているのか検証する。満足・不満いずれの意見もこのコーナーへの期待値として扱う(意見数)。

2. 利用者が来館せずとも参加できる事業の実施	
サービスの具体的方向性	⑥青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。
目的	来館に不安のある方、来館が難しい方の利用促進と読書推進
内容	図書館ホームページや電子申請を活用し、長い間親しまれてきた絵本の思い出を利用者同士で共有する「ネットで共有！思い出の絵本」など、来館せずとも参加できる事業を実施する。広報は北区とも連携して実施する。
効果	ホームページ等を活用した来館不要な申込みや参加を可能とすることで、来館に不安がある、または来館が難しい場合でも図書館に親しんでもらうことができる。また北区のホームページ等でも発信することで、非利用者が図書館へ興味をもつ機会を作ることができる。
指標	開催数・参加者数 イベント参加者アンケートでの非来館型イベントに対する評価

3. 子育て支援情報コーナーの充実	
サービスの具体的方向性	④子どもと一緒に安心して、楽しく利用できる環境を整備します。
目的	子育て世代が気軽に出かける場所、様々な情報収集の場としての図書館の利用促進
内容	「子育て支援情報コーナー」でのミニブックフェアの実施、情報発信などを北区の関係部局と連携しながら行う。子育て関連資料を積極的に収集し、提供する。
効果	子育て世代に向けて情報発信やコーナーの充実をはかることで、図書館の利用促進や読書推進をはかる。
指標	ミニブックフェアの開催数、連携先、情報発信数 子育て支援資料の利用点数

## 令和3年度 各図書館の取組み目標 (美原区)

令和2年度図書館サービス評価を踏まえた課題等
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中高年層の利用者の割合が高いという観点でいうと、館内施設の消毒等の実施も大事ですが、<u>非来館型サービスの拡充</u>に重点を置く方が、相対的に利用者の数が増加すると思います。</li> <li>● 一般的に、子ども向けのもの → それに同行する親や祖父母の取り込みといったパターンが多い中、直接中高年にはたらきかける点で今後の変化を期待します。</li> <li>● 高校生へのはたらきかけを以前からされていますが、<u>「非来館型」で高校生の図書館利用を増やせないか</u>の検討もお願いしたいところです。</li> <li>● 中高年層の利用の落ち込みは全国的な傾向の前触れの表れ現象かもしれない。現状把握、利用分析、利用者ニーズの把握、経過観察等、利用者の声をしっかり聞いて対策を講じ、結果を分析をしつつ試行錯誤しながら、<u>発信</u>を続けてほしい。</li> <li>● 中高年の利用減対策は、今後とも継続して蔵書構成・配架等の工夫を模索し、<u>結果分析・経過観察</u>を続けていってほしい。</li> </ul>

今年度の目標
<p>・コア利用者であるシニア層はもちろん、昨年度統計で利用の減少が目立った子ども(0～14歳)も含めた利用促進を目的として、以下の目標に取り組みます。</p> <p>1.幅広い年齢層の利用を促すため、区内の施設や学校園等との新たな連携取り組みを実施します。→【育む力・学ぶ力】</p> <p>2.サービスの認知度の向上と、非来館型サービスの拡充のため、図書館HPやTwitterでの情報発信を強化します。前年度と比べ、情報発信を20件以上増やします。→【育む力・学ぶ力・創る力】</p> <p>3.非来館型サービスの拡充のため、web予約や電子図書館の利用促進を図ります→【学ぶ力】</p>

### 【目標に向けた具体的取組み内容】

1. 図書館事業や行事の広報などにおいて、連携先の新規開拓や異なるアプローチを図る	
サービスの具体的方向性	①市民の読書環境の充実にさらに努めます。
目的	今まで図書館やそのサービスについて知らなかった人の図書館利用を促進する
内容	特定の年齢層など、対象に合わせた効果的な広報を実施する。 美原こども館との情報交換など、新たに区内施設・機関の連携を図る。
効果	来館者・利用者の増加
指標	来館者数・貸出冊数の対前年度比増加

2. 図書館 HP や Twitter での情報発信を強化する	
サービスの具体的な方向性	②くらしに身近なテーマを図書館で調べる・相談できるようにします。
目的	サービスの認知度の向上と、非来館型サービスの拡充
内容	事業や行事の告知に加え、ブックフェア関連ブックリストや、行事報告を Web 上で公開する
効果	来館者の増加、効率的・効果的な図書館サービスの情報提供
指標	図書館 HP や Twitter の掲載数 来館者数、発信した情報や行事に関する問合せ数

3. Web 予約や電子図書館の利用促進	
サービスの具体的な方向性	⑥青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。
目的	アクセス環境はあるが利用していない層(主にシニア)に向け、利用方法を知ってもらう
内容	少人数対象の利用講座の開催と館内での資料の配布(併用)
効果	Web 予約や電子図書館の利用拡大、コロナ禍で外出を控えている利用者の利便性向上
指標	(講座実施の場合)参加人数 Web 予約件数、電子図書館利用件数